



『ねんりんピック
彩の国さいたま2026』出場選手
ゲートボール交流大会参加者代表
遠藤 久美さん
91歳まだまだ現役
仲間とつかむ勝利

遠藤さんがゲートボールと出会ったのは20年前。自治会体育部員の健康増進担当として始めたことがきっかけでした。それ以来、毎週水曜日と土曜日の練習を欠かさず続けています。

「ゲートボールは団体競技。個人の技術だけでなく、仲間との連携プレーが大切です。」と話す遠藤さん。技術と戦略が勝敗を左右する競技であり、反則となってしまうプレーなどを瞬時に判断できれば、相手に点差を広げられてしまうため、公式ルールブックの内容は頭の中にしっかりと入っています。また、試合に向けた体調管理も抜かりありません。大会前は栄養のある食事と十分な睡眠の確保を心掛けています。大会の意気込みを聞くと、「練習で身に付けた力を十分



▲狙いを定めてボールを打つ遠藤さん。

に発揮して、ミスなく、みんなで勝ちたい。」とのこと。大会当日のコートは、普段練習している土のコートとは異なる人工芝。「ボールがどう転がるか分からないので、最後は運も味方につけたい。」と笑顔を見せます。

普段は午前5時30分に起床し、ゲートボールの練習や練習場の掃除、自宅の畑で農作業をこなします。パソコン教室にも通っており、ゲートボールの試合結果を表にしてまとめるなど腕前を発揮。さまざまな角度からチームを支えます。「家で暇にしている時間はほとんどない。」と楽しそうに話す姿に、91歳とは思えない若々しさを感じます。20年間積み重ねてきた経験と、仲間との絆を力に変えて、培ってきた技術と戦略をコートで発揮し、チーム一丸となって勝利を目指します。

ふっかちゃんの日常から
深谷が見えてくる

ふっか 散歩

157 道の駅おかべ

今回は『道の駅おかべ』に来たよお～。深谷の魅力と食がたっぷり取りそろえられているんだあ。物産センターでは深谷ねぎを使用した珍しい調味料(ねぎラー油、ねぎ油、ねぎニンニクなど)を発見！圧倒的な品ぞろえにびっくりしちゃうなあ。宝探し気分、おいしいもの探しをするのが楽しいんだよねえ～。

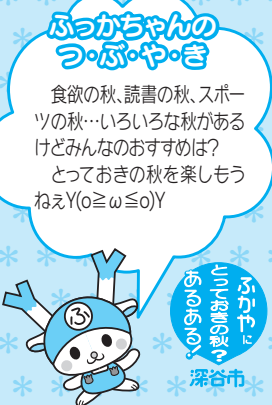


▲おながすいたから、『百縁むすび』に来たよお～！具材の種類が多くて、迷っちゃうなあ。みんなのおすすめはどれ？



▲ふっかちゃんのおすすめは『ねぎみそむすび』だよお～！ピリ辛で甘いねぎみそが、ふんわり握られたご飯と相性抜群なんだあ。

◀巨大な深谷ねぎオブジェを発見！圧倒的な存在感を放っていたよお。なんと、全長5メートルもあるんだってえ～。ふっかちゃん何個分の大きさかなあ？みんなも見つけてみてねえ。



ふっかちゃんのつぶやき
食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋…いろいろな秋があるけどみんなのおすすめは？
とっておきの秋を楽しもうねえY(o≧ω≦o)Y



ガーデンシティふかや推進室 [ふかや緑の王国・深谷市櫛引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551

ふかや学校花はなプラン ～地域でこどもを育てる～



学校花はなプランとは、学校だけでこどもの教育をするのではなく、地域で将来の日本を担うこどもを育てられるよう、こども・学校・幼稚園・PTA・地域が、一緒になって花壇づくりを行う活動です。

市内小・中学校、幼稚園の皆さんのご協力で、花壇づくりが行われています。



▲桜ヶ丘小学校



▲藤沢小学校



▲上柴西小学校



▲豊里小学校



▲豊里中学校



▲深谷東幼稚園



▲明戸小学校

ガーデニング教室参加者募集！

多肉植物の寄せ植え教室

さまざまな色、形のかわいらしい多肉植物を使って、オリジナルの寄せ植えを作りましょう。

とき 10月28日(水)午前10時～11時30分 ところ ふかや緑の王国多目的室

定員 20人(抽選) 参加料 2,500円(材料費含む)

講師 La*pensee(グリーンアドバイザー)

申し込み 10月7日(水)午前9時から13日(火)午後5時までに電子申請(右記QRコードからアクセス)※1回の申し込みで2人まで ※電子申請ができないかたは電話で申し込み可



▲作品のイメージ

初心者のかた、大歓迎！春まで楽しめる寄せ植え教室

フリルバンジーを使い、おしゃれでかわいい寄せ植えを作りませんか。

とき 11月11日(水)午前10時～11時30分 ところ ふかや緑の王国多目的室

定員 20人(抽選) 参加料 3,000円(材料費含む)

講師 島村師子氏(花ハウスシマムラ)

申し込み 10月21日(水)午前9時から26日(月)午後5時までに電子申請(右記QRコードからアクセス)※1回の申し込みで2人まで ※電子申請ができないかたは電話で申し込み可



▲作品のイメージ

心の広場

上柴西小学校4年
飯嶋 志織 さん



助ける行動力

ある日の朝わたしが、登校している時、前にいた四年生の男の子がとつぜん転んでしまいました。おどろいたわたしは、

「大丈夫？」と声をかけることしかできませんでした。しかし、近くにいた三年生の女の子は、もっと思いやりの心をもって行動に移っていて、その行動力にあこがれました。

男の子が転んだ時、私はどうすれば良いのか分からなくて、声をかけて、見守ることしかできませんでした。私よりも行動に移し、思いやっていたのは、別のはんの女の子で、しかも一つ年下の三年生の女の子でした。私はおどろきました。あこがれた私は、女の子がしていたことと、自分のしていたことや、気持ちを一つ一つ思いだしてみました。

一つ目は、声のかけ方です。私は、「大丈夫？」

と一言言い、見守ることしかできなかったけれど、女の子は、「大丈夫？」

と同じことを言ったあとに、心をこめてやさしく何度も言っていました。その様子から、相手を本当に思いやっていたということが伝わってきました。

二つ目は、落としてしまったピアノカです。私は見守ることしかできなかったけれど、女の子は、ピアノカの中身も拾って、ケースの中に入れてあげていました。私は、気を配れて、しっかりと行動に移していたところが、相手を思いやっていて、すごいなと思いました。

私と女の子のちがいは、行動のちがいだと思いました。ふり返ると、私は、声を一度かけて見守るだけだったのに女の子は、声を何回もかけ、落としてしまったピアノカの中身まで拾ってケースにもどして、たくさん思いやり、気を配っていることに気がきました。私は、相手を思いやり、気を配れる女の子にあこがれました。

このときのできごとから私が強く思ったことは、あの女の子のように、相手を思いやりたり気を配ったりして、しっかりと行動に移そうということです。行動に移すことは、少し勇気が必要かもしれませんが、思ったことを行動に移せば、人を助けることができると思いました。自分も人も幸せにできる人になっていきたいです。

※学校・学年は受賞当時のものです